

テナント専門のポータルサイト「テナントガイド」を運営しているエリアコミュニケーションズ（福岡県福岡市）が、この春より実施している「Real Safety Net」は、電話番号で調査できる

「Real Safety Net」は、電話番号で調査できる

## テナント専門ポータルサイト 会員向け与信サービス好評

同社のポータルサイト利用者は、全国の不動産管理会社や仲介会社が多く、

「入居希望者の事前審査の効率化が求められてきました。このサービスにより家賃滞納やなりすまし詐欺を未然に防ぐことが可能になりました」（西村健社長）。

入居希望者や更新時の与信管理ツールの一環として同社サービスを提供している。

基本的には同サイトを

はもちろん、固定電話番号から過去の使用履歴や住所地区と固定電話番号の判定を可能にする。使用エリアを判定することや、電話料金の支払い状況、存在する電話番号などを判別できる。利用料金は企業を調査する場合は1件1000円、個人調査は1件200円。同社運営のポータルサイトの会員店専用画面から申し込み可能で、同サービスに登録すると、IDパスワードが無料発行される。

同社は2006年

の開設以来、福岡・東京・大阪など19都道府県にネットワークを拡大し、飲食店、物販、企業の事務所探し等の一助として不動産会社の営業支援を行っている。

会員には個別のページがあり、どの物件にアクセスが高开ランキングを掲載する。またたとえ希望する物件がなくても「銀座で50坪」など入力してお

ば、希望し即した物件が登録され次第、情報入力者に連絡が行く仕組み。賃貸住宅を専門に展開してきた不動産会社も、テナントを重視する傾向がある。企業によっては専門部署を置くところが多くなっているという。

テナントガイドのHP



ば、希望し即した物件が登録され次第、情報入力者に連絡が行く仕組み。賃貸住宅を専門に展開してきた不動産会社も、テナントを重視する傾向がある。企業によっては専門部署を置くところが多くなっているという。